

1 3. 輸血製剤廃棄率

算式

【分子】 廃棄赤血球製剤単位数

【分母】 使用輸血赤血球製剤単位数 + 廃棄赤血球製剤単位数

定義

輸血用血液・血液製剤のうち廃棄された血液・血液製剤の割合

指標の解説

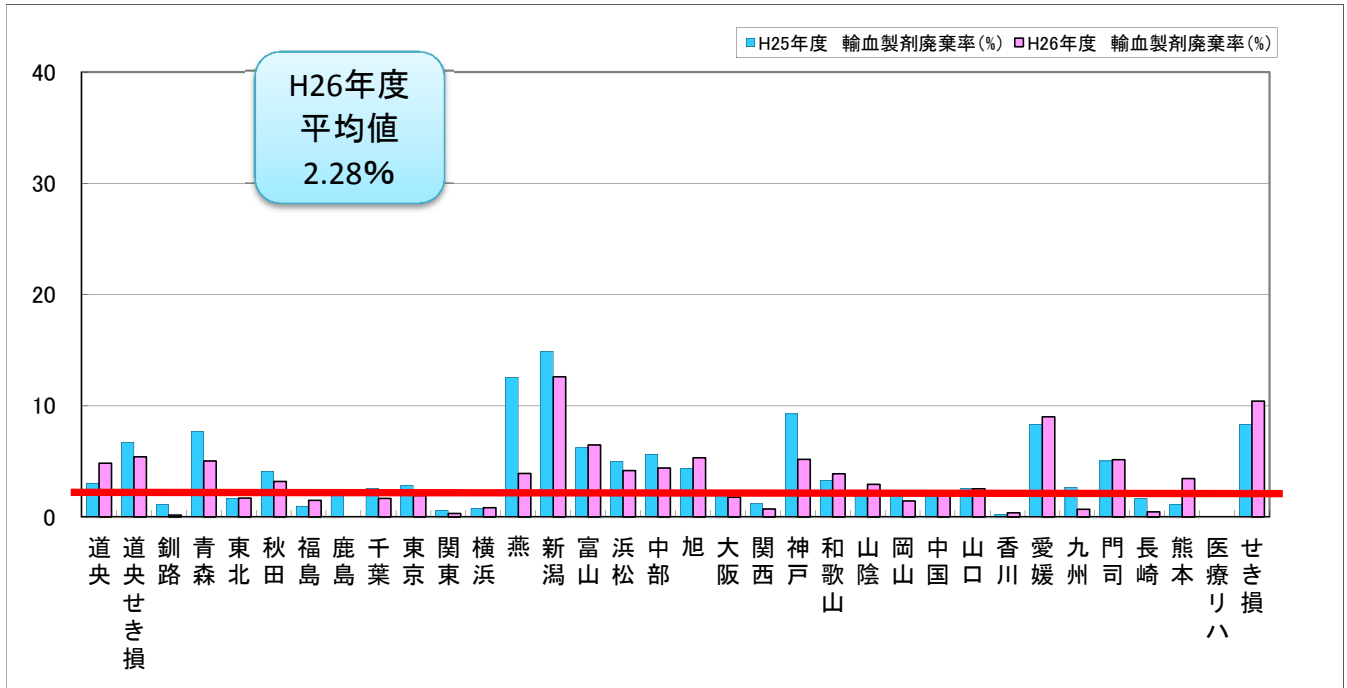
施設調査より抽出

医療資源の有効活用に関して、輸血用血液の適切な管理・使用状況について輸血製剤の廃棄状況から評価する。

廃棄率が低い場合には、輸血製剤が適切に管理・使用されていると評価できる。

(注) 当該指標については、病院と血液センター間の距離が影響しており、都市部（輸血センターから近距離）と地方（輸血センターから遠距離）の病院で大きく差が出る傾向にあります。
また、地方の病院においては、不測の事態に備えて血液製剤をストックしておく必要があるため、結果として廃棄率が高くなる傾向にあります。

1.3. 輸血製剤廃棄率



No	施設名	H25年度			H26年度		
		分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)	分母	分子	輸血製剤廃棄率(%)
1	道央	1,382	42	3.04	949	46	4.85
2	道央せき損	447	30	6.71	406	22	5.42
3	釧路	2,546	28	1.10	4,181	8	0.19
4	青森	2,106	162	7.69	1,905	96	5.04
5	東北	1,890	32	1.69	2,462	42	1.71
6	秋田	905	37	4.09	872	28	3.21
7	福島	2,015	20	0.99	1,599	24	1.50
8	鹿島	210	4	1.90	136	0	0.00
9	千葉	3,849	99	2.57	4,073	68	1.67
10	東京	2,039	58	2.84	2,168	42	1.94
11	関東	5,226	30	0.57	5,619	19	0.34
12	横浜	6,099	48	0.79	5,626	48	0.85
13	燕	1,353	170	12.56	1,626	64	3.94
14	新潟	1,396	208	14.90	1,537	194	12.62
15	富山	1,414	88	6.22	1,048	68	6.49
16	浜松	1,926	96	4.98	1,985	83	4.18
17	中部	2,754	156	5.66	2,546	112	4.40
18	旭	1,344	59	4.39	1,312	70	5.34
19	大阪	6,122	118	1.93	5,453	98	1.80
20	関西	7,151	85	1.19	8,782	64	0.73
21	神戸	1,099	102	9.28	1,468	76	5.18
22	和歌山	2,586	85	3.29	2,464	96	3.90
23	山陰	4,275	88	2.06	4,222	124	2.94
24	岡山	2,698	50	1.85	3,194	46	1.44
25	中国	2,227	42	1.89	2,053	42	2.05
26	山口	2,134	54	2.53	2,442	62	2.54
27	香川	4,680	10	0.21	4,131	16	0.39
28	愛媛	1,434	120	8.37	1,044	94	9.00
29	九州	3,693	99	2.68	4,026	28	0.70
30	門司	1,230	62	5.04	890	46	5.17
31	長崎	2,317	38	1.64	2,576	12	0.47
32	熊本	4,055	45	1.11	3,758	130	3.46
33	医療リハ	32	0	0.00	96	0	0.00
34	せき損	96	8	8.33	96	10	10.42
合	計	84,730	2,373	2.80	86,745	1,978	2.28
平均	500床以上	4,874	78	1.60	5,081	64	1.26
	400床以上	3,207	47	1.47	3,386	44	1.31
	300床以上	2,182	93	4.26	2,376	79	3.33
	200床以上	1,228	70	5.66	1,116	58	5.20
	200床未満	196	11	5.35	184	8	4.36